

長岡技術科学大学定例記者会見

日 時 : 平成26年7月15日(火) 13:30～

場 所 : 本学事務局3階第1会議室

内 容 : 1. 5年一貫制博士課程の設置について

～3年早期修了を目指す新専攻～

(武藤睦治 理事・副学長)

2. 原子力安全・システム安全棟竣工記念式典の開催について

(原子力安全系 末松久幸 教授)

3. 新潟県柏崎刈羽原子力防災センター(オフサイトセンター)

での危機管理ロールプレイングについて

(原子力安全系 末松久幸 教授)

4. 新技術説明会の開催について

(東 信彦 理事・副学長)

5. その他

「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～」の開催について

以 上

報道資料

平成26年7月15日

報道機関各位

長岡技術科学大学

グローバル・イノベーションリーダーの養成を目指した
5年一貫制博士課程「技術科学イノベーション専攻」の設置について
(平成27年4月 学生受け入れ開始)

このたび、長岡技術科学大学は高専と連携して構築してきた実践的な技術者育成プログラムをさらに高度化したエリート教育を展開し、グローバル・イノベーションリーダーを育成する5年一貫制博士課程「技術科学イノベーション専攻」を工学研究科に設置し、平成27年4月から学生の受け入れを開始します。1学生の定員は15名で、通常は高専卒業後、大学3年次編入から博士号修得まで7年かかるところを最短5年で修了できるカリキュラムを構築するとともに、在学中に海外の企業や研究機関における1ヶ月以上の実務や研究を複数回経験できるようにします。

この専攻では工学系各分野の学生を受け入れ対象とし、各分野の最先端研究を行いながら、世界トップクラスの起業家、技術者による「グローバル研究戦略」や「イノベーション・ケーススタディ」、「企業リーダー論」などの戦略科目の履修や演習を通じ、グローバル・イノベーションリーダーに求められる素養を身に付けさせます。また、実践的な教育研究を行う場として、学生時代から産業界との共同研究に携わる「産学官金融融合キャンパス」や本学の技学教育研究システムを導入した海外拠点大学を中心とした「グローバル産学官金融融合キャンパス」を活用し、イノベーションマインドやグローバル感覚を養います。また、MBAの養成で定評のある国際大学（南魚沼市）と連携し、工学博士を取得後、MBAを取得することが可能な教育プログラムを開設します。

この専攻で育成する人材は大学を代表するブランド人材として育成することとしており、授業料を免除するほか、リサーチアシスタントとしての雇用などの経済支援を行い、安心して勉学に取り組める環境を提供します。

大学としてはこの専攻での人材育成により、グローバルに活躍するプロジェクトマネージャー、起業家、イノベーション創出研究者を輩出し、日本の新産業創出や活性化を牽引していくことを目指していきます。

【本件担当】

企画・広報室長 西山 隆宏

電話 0258-47-9009

報道資料

平成26年7月15日

報道機関各位

長岡技術科学大学

原子力安全・システム安全棟竣工記念式典の開催について

長岡技術科学大学は、原子力分野に国際標準のシステム安全を適用できる人材を育成することを目的として、平成24年4月、工学研究科に「原子力システム安全工学専攻」を設置し、今春に初めての修了生を社会に送り出しました。

専攻設置からこれまで、専攻の教育研究は学内既存施設を流用して実施してきましたが、教員室・研究室・実験室等の不足や分散配置による不便な状態が続いてきました。

この状況を解消するため、専攻の教育研究に必要な特殊設備・施設の設置を含めて「原子力安全・システム安全棟」の新築を平成24年度に決定して設計・整備を進めた結果、このほど竣工いたしました。関係各位のご支援とご協力に感謝して、平成26年7月30日（水）に下記のとおり竣工記念式典を開催する運びとなりましたので、お知らせいたします。

記

第1部 竣工記念式典（13：30～，原子力安全・システム安全棟前屋外特設会場）

- 1) 開式
- 2) 学長式辞
- 3) 来賓祝辞
- 4) 祝電披露
- 5) 感謝状贈呈（学長から施工業者へ）
- 6) テープカット
- 7) 閉式
- 8) 施設見学

参考（原子力安全・システム安全棟の主な概要）

階 層 地上6階
構 造 鉄筋コンクリート造
延床面積 3,998㎡

報道資料

平成26年7月15日

報道機関各位

長岡技術科学大学

新潟県柏崎刈羽原子力防災センター（オフサイトセンター）での危機管理ロールプレイングについて

長岡技術科学大学大学院工学研究科原子力システム安全工学専攻の講義（安全・危機管理特論）の一環として、日本屈指の防災知見を有する新潟における原子力災害を想定した防災対策立案と広報に関する演習を下記のとおり行いますのでお知らせいたします。

中越沖地震のリエゾン経験を有する元海上自衛官等を講師にお招きし、災害対策本部、総括、住民安全、広報、プラントの5班に分かれた学生が、仮想原子力事故に対する災害対策のロールプレイングを行います。テレビ会議システム実機などを利用した実践的な機材と環境の中で、指示伝達、ホワイトボードの使い方、責任の所在、リスクコミュニケーションなど、これまで技術者に欠けていた危機管理技術の習得を目指します。

本ロールプレイングは、文部科学省国際原子力人材育成イニシアティブ事業「原子力発電リスク認識のための中学-高専-大学院高度連携教育」の支援により平成24年度から毎年実施しており、今回が3回目の開催となります。本年度は、原子力システム安全工学専攻カリキュラム変更により事前に1回のeラーニング、5回の座学を行い、十分な知識を習得した後にロールプレイングを受講し、実践的な危機管理技術教育を行います。

これにより、原子力安全のための人材育成法“新潟モデル”の構築の一助とするとともに、複雑なプラントの災害対策を通じて他業種でも役立つ危機管理能力教育法開発を目的としております。

記

日時：平成26年8月7日（木）9：30～17：00

場所：新潟県柏崎市三和町5-48

新潟県柏崎刈羽原子力防災センター（オフサイトセンター）

参加者：講師3名、本学学生50名、教員3名（予定）

報道資料

平成26年7月15日

報道機関各位

長岡技術科学大学

長岡技術科学大学・新潟工科大学
「新技術説明会」の開催について（ご案内）

ライセンス・共同研究可能な技術（未公開特許を含む）を発明者自ら発表する「新技術説明会」を下記のとおり開催します。今回の発表は「ものづくり、材料、バイオ、医療」の分野であり、本学からは5名の教員が発表を行います。

記

1. 日 時 平成26年7月25日（金） 13時00分～16時45分
2. 場 所 独立行政法人 科学技術振興機構 東京本部別館
（東京都千代田区五番町7 K's 五番町 JST 東京本部別館ホール）
3. 発表内容
 - ① 《ものづくり》
イノベーションツール「明日のために！」
長岡技術科学大学 機械系 教授 田辺 郁男
 - ② 《材料》
革新的機能向上のための配向セラミックス製造技術
長岡技術科学大学 物質・材料系 准教授 田中 諭
 - ③ 《材料》
6wt%の水素吸蔵が可能な低温型炭素材料
長岡技術科学大学 物質・材料系 教授 斎藤 秀俊
 - ④ 《材料》
酸化物セラミックス厚膜の高速合成手法
長岡技術科学大学 物質・材料系 教授 斎藤 秀俊
 - ⑤ 《バイオ》
高効率なセルロース系バイオマス分解酵素生産微生物の開発
長岡技術科学大学 生物系 准教授 小笠原 渉
 - ⑥ 《医療》
コールドスプレーによる生体適合多孔質Tiコーティングの開発
新潟工科大学 工学部 機械制御システム工学科 教授 山崎泰広

報道資料

平成26年7月15日

報道機関各位

長岡技術科学大学

「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」開催について

今年度、独立行政法人日本学術振興会の委託事業「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」では、全国145の大学や研究機関において267のプログラムが開催されますが、そのうちの一件を下記の通り本学で開催いたします。

本事業は、学術と日常生活との関わりや学術がもつ意味に対する理解を深める機会を社会に提供し、以下に掲げる研究成果の社会還元・普及事業の推進を目的として、独立行政法人日本学術振興会が平成17年度から実施しているものです。

- ・我が国の将来を担う児童・生徒を対象として、若者の科学的好奇心を刺激してひらめき、ときめく心の豊かさと知的創造性を育むこと
- ・科学研究費助成事業による研究成果を基礎としながら研究の内容について、分かりやすく発信することを通じて、学術の文化的価値及び社会的重要性について示し、もって学術の振興を図ること

本学が開催するプログラムでは、水の浄化技術に関する実験や環境保全に関する講義、学生食堂での昼食、大学院生・外国人留学生との交流などの催しを予定しております。参加生徒が自然環境や環境問題に関する知識・教養を深められるとともに、大学における研究活動や大学生活を体験できる貴重な機会となるよう企画しております。

報道等のご予定に入れていただけますと幸甚に存じます。

記

プログラム名：「水をきれいにする微生物のチカラと水処理技術」

日時：平成26年7月29日（火） 午前10時40分～午後4時40分

会場：長岡技術科学大学 環境システム棟ほか

対象・定員：中学生・20名

本件担当（お問い合わせ先）：

国立大学法人 長岡技術科学大学

環境・建設系 水土壤環境研究室

教授 山口隆司 Tel：0258-47-9612

ひらめき☆ときめきサイエンス係 Tel：0258-47-9637

E-mail：hiraemeki@jcom.nagaokaut.ac.jp

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1

Tel：0258-47-9238 Fax：0258-47-9283

<http://www.nagaokaut.ac.jp>

○当日時間割（予定 ※都合により変更する場合があります）

10：40～10：50

受付（講義棟入口前集合）

11：00～11：30

イントロダクション（スケジュール説明など）

11：30～12：00

微生物の顕微鏡観察など

12：00～12：45

交流会（学食（第一食堂）での昼食会）

13：00～13：40

実験「浄化装置の開発」

（班ごとに分かれ、ろ過や薬品処理などの方法を用いて水浄化プロセスを
作製し、処理水の色度・濁度を測定する。）

13：50～14：20

「開発した浄化装置の発表」

（前の時間で作製した水浄化プロセスについての発表を行う）

14：30～15：00

実験「受講生による水処理技術の開発」

（発表でのやり取りをふまえ、作製した水浄化プロセスの見直しを行い、
作製した水浄化プロセスを改善し処理水の色度・濁度の測定を再度行う。）

15：15～15：55

講演「ミクロな巨人、微生物のチカラ o(`д´ 。)」

（長岡工業高等専門学校・助教 押木先生による微生物と環境浄化との関
わりをテーマとした講演）

16：00～16：40

クッキータイム、大学院生との交流、アンケートの実施
修了式（科研費の説明と未来博士号授与式）

16：40

終了・解散

報道資料

平成26年7月15日

報道機関各位

長岡技術科学大学

官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～について

《概要》

『官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～』は、平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」に基づき、日本人学生等の海外留学促進のために創設された、新たな海外留学支援制度です。これは海外での「異文化体験」や「実践」を焦点にした留学を推奨することにより、学生時代により多様な経験と、自ら考え行動できるような体験の機会の提供、そして諸外国の大学等といった教育機関での留学だけでなく、企業でのインターンシップや学生が立案した多様なプロジェクト等の留学を支援する制度です。

《本学の申請状況・選考結果》

	応募状況	一次審査 (書類審査)	最終選考 (合格者)	備考
男	12人	2人	2人	修士(材料開発)1年 1名 修士(機械創造)1年 1名
女	5人	2人	1人	修士(経営情報システム)2年 1名
計	17人	4人	3人	

合格した3名の申請コース：※自然科学系、複合・融合系人材コース

(※自然科学系、複合・融合系人材コース：自然科学分野、複合・融合系分野における学修、研究やフィールドワーク、インターンシップ等の体験活動を行う留学を支援するコース)

《今後のスケジュール》

平成26年7月27日 第1期派遣留学生の壮行会(場所：文部科学省)
平成26年8月上旬 事前研修
平成26年8月下旬～ 支援(留学)開始

～参考～(文部科学省HPより)

	応募状況	一次審査 (書類審査)	最終選考 (合格者)
男	809人	260人	161人
女	891人	250人	162人
計	1,700人	510人	323人